

	<b>発達性読み書き障害の理解を深めるシンポジウム</b> <b>『クラスに2～3人いる読み書きが苦手な子どもたち』</b> <b>～障害を知り、私たちに何が出来るかを考える～を開催します！</b>
と き	6月17日（金） 午前10:00～12:30
と ころ	区民・産業プラザココネリ ココネリホール(練馬 1-17-1)
<p>社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会は、区民・産業プラザココネリで17日、発達性読み書き障害（発達性ディスレクシア）を持つ人への理解を地域で深めるシンポジウムを開催します。</p> <p>このシンポジウムは、ボランティアセンターに1人のお母さんから相談があったことがきっかけ。障害による子どもの学校生活の大変さと、同じような悩みを持つ人たちが多くいることを知り、この障害をたくさんの方が理解することで、障害を持つ子どもや家族が辛い思いを減らすために開催に至りました。</p> <p>担当者は「まず私たちがこの障害を知ることが大きな力になります。私たちに何が出来るかを一緒に考える機会にしたいです」と話しています。</p> <div data-bbox="1257 533 1485 846"></div> <p style="text-align: right;">▲イベントちらし</p>	

### 【概要】

日 時：6月17日（金）10:00～12:30

会 場：区民産業プラザココネリ ※オンラインでも実施

定 員：150名（先着順）※参加費は無料

内 容：第1部 基調講演「発達性ディスレクシアの基礎知識と体験談～当事者だからわかること～」

＜講師＞中野区療育センターゆめなりあ・言語聴覚士 関口裕昭さん

#### ●関口裕昭さんについて

埼玉県生まれ。高校生の時に発達性ディスレクシアと判定。現在は言語聴覚士として中野区の療育センターに勤め、個別療育、保育所等訪問事業に携わっている。学校、保育園、福祉施設などで、実体験をもとに当事者の視点と支援者の視点を掛け合わせた講演活動を行っている。

第2部 シンポジウム「誰にとっても暮らしやすい地域に～私たちに何が出来るかを考える～」

＜コメンテーター＞宇野彰先生(NPO 法人 LD・Dyslexia センター理事長)

＜シンポジスト＞坂口倅子さん(当事者家族の立場から)

村松洋一さん(当事者の立場から)

石井眞弓さん(元教員の立場から)

後 援：練馬区教育委員会/NPO 法人 LD・Dyslexia センター/認定 NPO 法人エッジ

### 【参考】発達性読み書き障害（発達性ディスレクシア）とは

聞いて理解することや、発話で伝えることは問題がないにも関わらず、文字や文章を読む・書くことに困難のある障害

問合せ 社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会 練馬ボランティア・地域福祉推進センター

☎：03-3994-0208